

群馬県繊維工業試験場の拡充並びに

敷地内の再整備・有効活用について（改訂継続）

群馬県繊維工業試験場は、全国で唯一の公的施設として群馬県民の誇りであり、また、研究開発、技術支援、人材育成・情報提供、産地課題への対応など、群馬県の繊維業界を全面的にサポートする様々な施策を積極的に展開している機関であります。また全国唯一の繊維専門の公共試験研究機関が、1300年の歴史を誇る織都・桐生に設置されている意義は大変大きく、繊維業者の課題解決に大きな支援をいただいております。

昨年4月からは群馬県立産業技術センターと運営体制が統合され、利用企業への技術支援・研究開発の高度化、利用者の利便性の向上が図られました。

また、同試験場の中期ビジョン（令和2～4年度）には研究開発、技術支援、商品化支援、情報提供等についての基本構想・計画、目標が示されており、このビジョンに基づき各種研究開発、利用者へのきめ細かな対応を実施していただいております。

繊維業界では閉塞的な状況が続いておりますが、こうした状況を打破し、桐生市の繊維関連企業が国内市場を拡大し、海外市場を取込むためには、革新的技術による新たな価値の創出や、地域のブランド化が課題となります。

この課題の解決のためにも同試験場の存在意義は年々高められておりますので、引き続きの最新機器導入による設備の整備、研究員等の人員配置拡充など、更なる機能充実を図るための積極的かつ充実した支援体制が取られるよう、群馬県に呼びかけていただくことを切望いたします。

また、敷地内には、昭和37年に開設された群馬地方発明センターの建物が残存しておりますが、その役割を終えた現在は廃墟化し、周辺の景観をも損ねております。

つきましては、これら施設を取り壊すなどの再整備、今後の有効活用についても是非ともご検討いただきますよう、併せて要望いたします。

桐生市からの回答

群馬県繊維工業試験場は、全国で唯一の繊維に特化した公設試験場であり、繊維関連の中小企業が多い本市にとって、極めて重要な施設であると認識しております。市では、これまでも同試験場と市内の繊維関連企業との連携促進を図りながら、同試験場が行う研究開発や技術支援、人材養成等の取組に対して必要な支援を行っているところであり、こうした取組が同試験場の存在意義を高める効果もあると考えております。

近年、同試験場では、産学官連携や異業種交流の促進を目的とした、「オープンイノベーション」の拠点となる施設整備のほか、無菌的な環境を提供できる「クリーンルーム」や、極限環境を再現できる「人工気象室」などの整備により、繊維産業の医療・介護分野への参入、繊維技術を活用した環境問題への対応など、次世代産業への進出支援も実施する中で、令和3年度の群馬県立産業技術センターとの統合により、伝統的織物研究や高機能繊維開発の拠点として、企業への技術支援・研究開発の高度化、効率化も強化されまし

た。今後も市といたしましては、引き続き、同試験場と連携を密にしながら、繊維産業の振興を図るとともに、皆様の御要望等をお聴きしながら、県に対し同試験場の機能維持・強化等を要望してまいりたいと考えております。

また、敷地内の未使用施設については、施設の一部を倉庫として利用している各部署に対しては、令和5年度末を目安に保管品の移動を依頼しており、作業も開始されたところではあります。

さらに、今後の有効活用を視野に入れ、群馬県の所管部署との協議も開始したところでありますので、引き続き、関係機関等と調整を図りながら当該地の再整備・有効活用に向け、検討してまいりたいと考えております。

〔回答担当〕 産業経済部商工振興課工業労政担当